



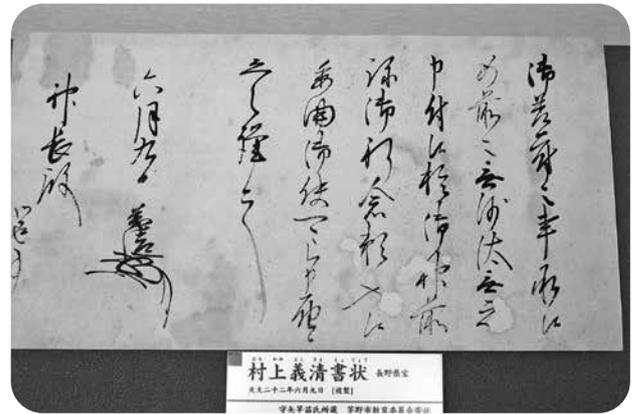
中嶋 登 議員

古文書の全町戸籍作成を

古文書の目録化を図る

温故知新

問 町の武将であった村上義清の本物の書状は3通あると言われているが、残念なことに町には1通も残っていない。しかし、古文書などは江戸時代を中心に数多く残っているとも聞く。まだ間に合うので、古文書戸籍



(全町リスト)を作成しておくべきと考えるが。教育文化課長 古文書に関する啓発を進め、新たに発見されたら目録化を図っていききたい。

役場移転計画を

問 令和3年に町は千年に一度起こる災害を想定したハザードマップを作成した。マップによると、役場庁舎は5m〜10mの浸水被害が想定されている。千年に一度と

言っても来年起こるかもしれない。役場移転計画を考えていく時期でもあり提案する。マップから見て安全な場所は、四ツ屋、中之条、金井の産業道路周辺が適地と考えるが。

町長 昭和58年の建築以

来39年経過しているが、耐震は建築基準法改正後の建築であり十分に使用可能である。今後建て替え時期がくれば、社会情勢等鑑みの中で町民の意見を聞き検討する。

農振見直し

耕作放棄地への対応は

適切な管理を指導する



栗田 隆 議員

問 140円を超える24年ぶりの円安、グローバルゼーションの行詰まりで産業の「日本回帰」が起こっている。農林業においても同様である。このタイミングでの農振地域見直しについて町の見解を問う。

商工農林課長 前回の見

直しから長期間が経過し当町の農業をめぐる情勢は大きく変化した。それに対応する見直しが必要となった。

見直しの手法は。

商工農林課長 国や県が策定する基本方針に基づ

いて地権者等の関係者と協議しながら進める。

問 農振地域指定をした農用地に対する町の責務は。

商工農林課長 現在も行っているが、荒廃農地が発生した場合には適切な指導をしていく。

教育について

問 OECDの調査で、日本の義務教育終了段階の生徒の「読解力」低下が顕著であった。町の対応は。

教育長 その調査の結果を踏まえ、当町でも「読書指導」「自分の考えを表現する指導」の充実とともに、GIGAスクール構想の推進の中で、読む能力に欠かせない「情報活用能力」を高めていきたい。



収穫のお手伝いがんばりました